/情報政策課



黒羽地区の冬の風物詩

黒羽どんと祭

黒羽商工会青年部など主催のどんと祭が、黒羽向町 の那珂川河川敷で行われました。新春の恒例行事で、 旧黒羽町が林業の町だったことから、やぐらも材木の 古材や間伐材を使って組み上げるのが特徴です。地元 住民らが持ち寄っただるまやしめ飾り、門松なども 次々とやぐらに並べられ、弓道ガールズによって点火 すると、炎が空高く上がり見事でした。集まった方た ちは燃え上がる火に一年間の無病息災を祈りました。

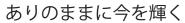


霊芝」入りパンや菓子開発

産学官連携新商品発表会

市の産学官連携推進委員会の研究グループ「与一の 里キノコ研究会」(宗像達夫会長)は、健康維持に役立 つ成分が含まれる霊芝を使ったパンや焼き菓子の開発 を発表しました。

発売するのは、「霊芝入り薬膳グリッシーニ」と焼き 菓子「同フィナンシェ」の2種です。グリッシーニは「ナ チュラルベーカリー和音」が、フィナンシェは「焼きた て焼き菓子工房 Kabaco」が仕上げました。津久井富雄 市長は「大田原ブランドの創出とともに地域活性化の 起爆剤になると期待している」と述べました。



市民力アップ講演会

那須野が原ハーモニーホールにおいて、男女共同参 画推進事業者表彰式と、『ありのままに今を輝く~グ ローバル化時代の生き方論~』と題し、尾木直樹氏(尾 木ママ)の講演会が満席御礼で開催されました。講演 の中で尾木氏は、認めて褒めて育てることの大切さや、 どんな時も笑顔でいること、怒りたいときも話を聞い て心を開いて共感することがいかに大切かを述べてい ました。来場者は、時に笑い、納得して頷きながら、 会場は拍手の嵐に包まれました。





「将棋のまち」で 10 期連続開催

第64期王将戦七番勝負第三局

ホテル花月で開催された第64期王将戦七番勝負第 三局は、大接戦の末、郷田真隆九段の勝利で幕を閉じ ました。28日(水)の前夜祭では市小中学校将棋大会 の優勝・準優勝者を含む約150人が参加し、対局に 挑む両棋士を激励しました。30日(金)の中村修九段 と佐藤七段による大盤解説会は、朝から雪に見舞われ る中、約80人が参加しました。来場した将棋愛好者 たちは、佐藤七段と積極的に意見を交わし、活気のあ る解説会となりました。